

アヒルの飼育

はじめに

アヒルは何千年も昔から、卵や肉、羽毛を利用するために世界中で家禽として飼われてきました。そのような利用方法に加えて、人によく懐くことや、その可愛らしい仕草から、現在はペットとして飼われることも増えてきました。ペットのアヒルは社交性や、社会性もあり、飼育に必要な世話がしっかりできれば良い家族の一員になります。ただし家族として迎える前にアヒルの平均寿命が8～12年であることも考慮しておきましょう。

何年もかけて品種改良がおこなわれ、見た目や性格、産卵頻度などが多様化しました。しかしバリケンを除き、ほとんどのアヒルはマガモを原種として家禽化されたものです。このような違いはあるにせよ、健康に飼うために必要なことは基本的に同じです。

- 質の良い餌を与える
- 陸上と水上の環境を衛生的に保つ
- 捕食者から保護する

餌について

アヒルの餌には、品質の良い水禽用配合飼料と採餌(フォージング)用の自然の草の両方が必要です。栄養バランスの取れた食事が、アヒルの健康と幸せな生活を支える鍵になります。また、市販の配合飼料は年齢に合わせたものを選びましょう。

- 雛には、生後24週程度まで育成用または育雛用の餌を与えます。これらの飼料は高タンパク質で、必須栄養素のナイアシンという雛の成長に欠かせない栄養素が含まれています。アヒルの雛にニワトリの雛育雛用の薬が配合された餌は与えないでください。アヒルに対して承認されていない薬が使われていることがあります。
- オスや産卵を目的としないメスには、タンパク質やカルシウムが増量されていない、健康維持を目的としたメンテナンスフードを与えます。
- 産卵を目的とする場合は、採卵用又はレイヤー用の飼料を与えます。それらはカルシウムとタンパク質を多く含み健康を維持しながら質の良い卵の産卵をできるようにします。

アヒルは元来、フォージングをします。飼料と同じ量の野菜や草を与えましょう。庭などの草の生えた場所で採食すると、虫や雑草駆除の一役も担ってくれます。ただしその場合は、そのエリアに毒性のある植物がないことをまず確認してください。毒性のある植物に関しては、獣医師又は、ASPCAのポイズンコントロールのウェブサイト(居住地によって異なりますので、お近くの獣医師に確認してください)リストを確認してください。

パンやクラッカー、トウモロコシなどの炭水化物を多く含む食べ物は肥満などの健康リスクを高めることになります。またアヒルが本来食べるものではないため、与えないようにしましょう。

また池だけでなく、いつでも飲水用の水入れを利用できるようにしてください。アヒルはかなり散らかすので、飲水は餌と一緒に毎日交換しましょう。餌入れを定期的に掃除することで、げっ歯類が飼育環境に侵入する機会を減らし、これがまた病気の広がりを防ぐこともできます。

飼育場所

複数のアヒルを一緒に飼うには

同じ品種のアヒルであれば、共存できることが多いですが、過密状態になると攻撃性が増してケガする原因になるので同じ場所で飼育しないように気を付けましょう。異なる種のアヒルを同じ場所で飼うときは、品種によってはうまく共存できないこともありますので事前に獣医師や水鳥に詳しい地元の団体などに必ず相談してください。たとえば、ガチョウや白鳥など大型の水鳥は攻撃的な態度を取る場合があります。

床材

足を痛める原因になりますのでコンクリートなどの硬い床材は避けてください。掃除の手間は増えますが、草地や土の床材が理想的です。飼育場所の広さにもよりますが、月に1～2回は草の手入れや土の入れ替えをお勧めします。手入れを怠ると、寄生虫や細菌が増殖し飼育環境が悪化することになります。



aav.orgにアクセスするか、Facebookで
facebook.com/aavonlineにアクセスしてください。

アヒルの飼育

飼育場内環境

アヒルが人目を避ける寝床や、悪天候や捕食者から身を守るために、色々なタイプの休息場を用意しましょう。丸太をくり抜いたものや台を置いたり、またフォーミング用の背の高い草を植えれば天然の目隠しができるだけでなく羽のある友人のエンリッチメントにもなります。

水

どの種類のアヒルにも泳ぐためのプールや池を準備してください。一推奨されるのは最低約60cm(2feet)程度の深さです。簡単に排水ができ、定期的に掃除がしやすい小さな人工池をコンクリートで作るのもよいでしょう。アヒルにとっては池が大きい方が楽しめますが、その場合はエアーポンプか濾過装置を設置して、アンモニアの蓄積防止対策をおこなう必要があります。草や水草を水際に植えれば、天然の濾過装置になります。

屋内飼い

アヒルは陽気で社交的な性格なので、部屋で一緒に過ごしたくなるのですが、屋内で飼うと、足の裏を痛めたり、栄養不足になったりしがちです。そのため、屋内だけで過ごさせることはお勧めしません。柔らかい地面や泳げる水場が必要です。泳ぐことで、羽の状態を最適に保つことができ、率先して羽繕いも行います。また、尾脂(グリーン)腺からの分泌物に含まれるビタミンD前駆体が紫外線に晒されることで、体内にビタミンDが生成されます。

外敵からの保護

捕食者から守るため、池の周りには防護ネットを張るのが理想的です。防護ネットがあれば野鳥との接触も避けられるので、病気の感染も避けられます。防護ネットにはナイロンのネットやワイヤーフェンスが適しています。飼育場所全体を囲わない場合はアヒルが外敵から身を守り、夜も安心して寝られるように、囲いのある放し飼いできる場所や小屋などを準備するか、背の高い草木を植え、隠れる場所を作ってください。

断翼

アメリカでは、飼われているアヒルを自由に飛ばすことを禁止している州があります。禁止している州では、アヒルを飼う場合は、ネットやワイヤー付きの囲いで飼うか、風切り羽を切るか断翼する必要があります。アヒルを飼う場合は、地域の獣医師に相談し地域の法律に従ってください。

健康と病気

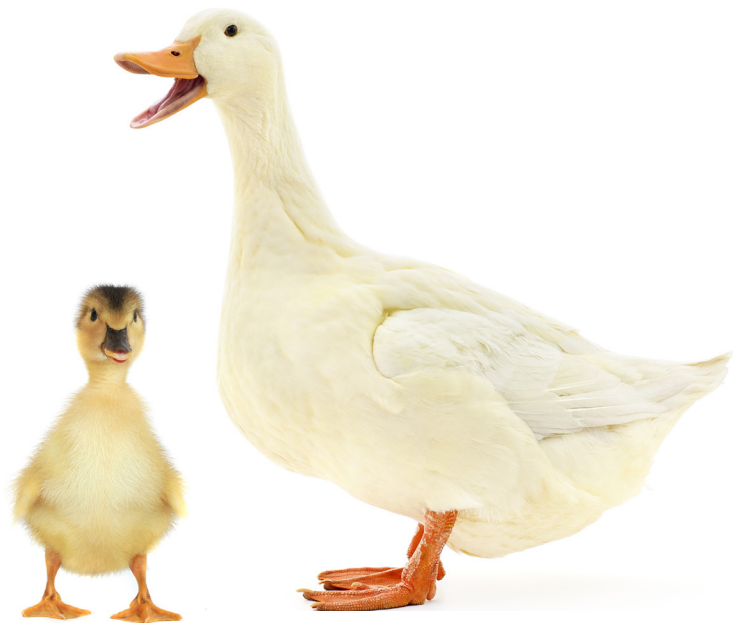
購入後はできるだけ早く鳥類獣医師による健康診断を受けてください。その後も年に一回は犬や猫と同様に定期検診を受けるようにしましょう。アヒルは足や呼吸器、腸の病気に罹りやすいので、歩き方や食欲、動きに変わったところがないか常に観察してください。

次のような症状が見られたら、鳥類獣医師に診てもらいましょう。

- 足を引きずるなど歩き方の異条
- 足の腫れや赤み
- 食欲減退
- 不活発
- 呼吸に合わせて尾が上下に揺れる(テイルボビング)、くしゃみや鼻水
- その他見た目や動きで気になる変化がある場合

死亡したとき

複数飼育している中で病気の鳥が出て、死亡してしまったときは原因を解明するための解剖(病理解剖)の実施を獣医師にお願いすることもできます。病理解剖することにより、細菌やウイルスなど、同居しているアヒルたちに影響があるかもしれない感染源を特定できる可能性があります。病理解剖を検討する場合は、掛かりつけの獣医師に相談してください。また、検体はビニール袋に入れて冷凍庫ではなく、冷蔵庫に保存します。(アメリカでは州によって、自治体が病理解剖を受けてくれるところもあります)



アヒルの飼育

卵

鶏ほど一般的ではありませんが、アヒルの卵も栄養価が高いと言われています。カーキキャンベルのように、多産な品種もあります。採卵を目的に飼育する場合は、高タンパク(15~18%)、高カルシウム
の採卵用飼料を与える必要があります。冬になると産卵数が減りますので、一年を通して安定した数を得たい場合は、人口照明を使って、一日の日照時間を13~14時間に保ちます。アヒルの卵の味や調理法は鶏の卵とは少し異なりますので、レシピには工夫が必要かもしれません。

AAV: 1980 年以来鳥類の健康管理の基準を設定

鳥類の診療は、鳥を治療し入院させるために特別に設計整備された施設、広範囲な訓練、高度な技術を必要とする類まれで非常に特殊な分野です。鳥類獣医師協会(AAV)は、この特別な知識を獣医師に提供し、鳥の健康に関する最新情報を提供するために設立されました。AAVは、鳥の医学に関する総会を毎年開催し、査読されたJournal of Avian Medicine and Surgeryを発行しています。また、毎年AAVは鳥類保護活動への寄付を行い、鳥類医療の理解を深める研究を後援しています。



さらに詳しい情報のパンフレット

鳥に関する詳細については、動物病院で以下のAAV クライアント・エデュケーション・パンフレットを入手してください。

- 鳥のクラミジア症とオウム病
- ペットバードのための獣医学的ケア*
- コンパニオンバードの基本的なケア*
- 正常な行動と異常行動
- 自宅でのニワトリ飼育
- デジタルスケール
- 毛引き
- 鳥の餌
- ケガ予防と救急医療
- ペットバードの産卵管理
- コンパニオンバードの病気の兆候*
- コンパニオンバードのための紫外線ライト
- 動物病院を受診するのはいつですか?*
- ニワトリにおける動物由来感染症*

*多言語で提供。他のすべては現時点で英語のみ提供。

オンラインリソース

FacebookでAAV(www.facebook.com/aavonline)をフォローしてください。ペットバードの飼い主のための素晴らしいヒントや最新ニュースをお届けしています。Twitter(@aavonline)やYouTubeにもAAVのアカウントがあります。

AAVのウェブサイトwww.aav.orgでは、検索ツールを使って世界中の鳥類獣医師を見つける事ができます。基本的な鳥の飼育方法など、さまざまな資料も提供しています。今すぐ、ウェブサイトをご覧ください!

免責事項:この翻訳された情報は北米の読者のために書かれました。地域および特定の国の規則および規制は異なる場合があります。また、説明されているすべての手順および詳細がお住まいの国や地域で許可されているわけではありません。読者は、提供された情報を読んで実行する前にお住まいの地域の法律が遵守されていることを確認するようお勧めいたします。

© 2022

Association of Avian Veterinarians

1802 Antioch Church Road, Watkinsville, GA 30677



aav.orgにアクセスするか、Facebookで
[facebook.com/aavonline](https://www.facebook.com/aavonline)にアクセスしてください。